

第12回（平成19年度第1回） かごしままちづくり会議会次第

○日時：平成19年5月25日（金）14：00～

○場所：東別館11階 1101・1102会議室

1 開 会

2 報 告

- (1) 平成18年度の開催経過について
- (2) 第11回（平成18年度第5回）かごしままちづくり会議における意見等の検討状況について
- (3) 第11回（平成18年度第5回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況について（全市的な事項）
- (4) 第12回（平成19年度第1回）地域まちづくり会議について
- (5) 平成19年度予算について
- (6) 新市まちづくり計画の進捗状況について

3 協 議

- (1) 組織のあり方及び平成19年度の会議の進め方について
- (2) テーマ：次世代育成

4 その他

5 閉 会

第12回（平成19年度第1回）
かごしままちづくり会議資料

〈 資 料 〉

- 資料1 地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議
協議経過報告書
- 資料2 第11回（平成18年度第5回）かごしままちづくり会議における
意見等の検討状況等
- 資料3 平成19年度当初予算のポイント
- 資料4 新市まちづくり計画に掲載された主な事業等の進捗状況
- 資料5 平成19年度の会議開催スケジュール（案）

〈 参考資料 〉

- 参考1 分野別地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議におけ
る意見等の検討状況一覧表
（平成18年度第1回～平成18年度第5回）
- 参考2 平成19年度当初予算の概要
- 参考3 平成19年度主要事業の概要

第11回(平成18年度第5回)かごしままちづくり会議における意見等の検討状況等

	ページ
1. 第11回(平成18年度第5回)かごしままちづくり会議における意見等の検討状況	1~3
2. 第11回(平成18年度第5回)地域まちづくり会議等における意見等の検討状況 (全市的な事項)	4~6
3. 平成19年度第1回地域まちづくり会議概要	7~12

第11回（平成18年度第5回）
かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類 : 1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他
 検討状況の分類 : 1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、
 4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
1	公民館については、団塊世代の活躍の場、人材発掘の場、ネットワークの場として機能強化を行い、様々な人材のコーディネーター役としての公民館のあり方を検討してほしい。	2	教育委員会	生涯学習ボランティアとして活躍できるような団塊世代を対象にした講座を開設している。また、公民館事業や公民館講座等で講師として活用できるような団塊世代の人材発掘に努めている。今後、団塊世代が活躍できるような場など情報提供に努めていく。	2
2	町内会の必要性をまとめたものを転入者に渡すなどの町内会離れ対策を行ってほしい。	2	市民局	質疑として次のとおり回答済 ----- 加入者呼びかけのチラシを転入者や市営住宅入居者に配布するなど様々な加入促進対策を講じているところである。	1
3	町内会の基本は住民同士のコミュニケーションなので、未加入者対策全てを行政に要望するべきではないが、町内会離れ対策に奮闘している役員などに対して、世帯把握のために地域へ新規入居者についての情報提供を行うなど、特色ある対策を考え、今以上にバックアップをしてほしい。	2	市民局	質疑として次のとおり回答済 ----- コミュニティ再生に向けた施策として、19年度から地域力再生検討委員会(仮称)の設置を検討しているところである。	2
4	地域内の情報を各個人が書き込みながらコミュニティを作ろうというサイトも存在しており、様々な人とつながり、自由に発言でき、かつ多くの情報を得られるインターネットは、コミュニティツールとして有効だと思う。そういった情報及び地域との一体感が得られるというメリットがあれば町内会への加入促進対策としても有効ではないか。	2	市民局	インターネットは、個人レベルの情報収集という観点では有効なものと考えているが、コミュニティツールとしての活用能力には、個人差が未だ大きい状況であり、今後の研究課題と考えている。	2

第11回（平成18年度第5回）
かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類 : 1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他
検討状況の分類 : 1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、
4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
5	災害時などには行政の力だけでは対応できないので、今後は商店街やスーパー、コンビニも含め、防災・防犯対策の要とすべきではないか。	2	市民局	17年10月に制定した安心安全まちづくり条例に事業者の責務を定め、防災・防犯等に関する事業者の積極的な参加を進めているところである。 防災については、災害時の食糧等物資の優先的な供給等について、本市とデパートやスーパー等11社との間で、協定を締結しており、今後も拡充していきたいと考えている。 また、防犯対策としては、事業者による防犯パトロール隊にもパトロール用品を支給することとしており、19年度は新たに、事業者等の車両による防犯パトロール活動の促進を図ることとしている。	1
6	町内会未加入者が増えているとのことだが、一度加入しない意思表示をした人には一切情報が伝わらなくなるという情報の欠如面にも問題があると思うので、インターネットやかわら版的なものだけでなく、マスコミ等を含めた様々な媒体を活用してコミュニティを話題にして、広く住民に知らしめることが必要ではないか。	2	市民局	コミュニティ再生に向けた施策として、19年度から地域力再生検討委員会(仮称)の設置を検討しているところである。	2
7	地域内の情報を各個人が書き込みながらコミュニティを作ろうというサイトも存在しており、様々な人とつながり、自由に発言でき、かつ多くの情報を得られるインターネットは、コミュニティツールとして有効だと思う。そういった情報及び地域との一体感が得られるというメリットがあれば町内会への加入促進対策としても有効ではないか。	2	企画部	インターネットを用いたコミュニティツールは、地域コミュニティの活性化や地域社会への住民参画のための一つの手法であると考えている。	2

第11回（平成18年度第5回）
かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類 : 1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他
 検討状況の分類 : 1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、
 4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
8	各地域でブランド化されていた製品のインパクトが薄くなり、ブランド力が衰えてしまうことが懸念される。効果的な戦略を打ち出して市外・県外・国外にまで通用する新生鹿児島市としての地域ブランドを作って鹿児島力をアピールすべきではないか。	2	経済局	<p>特産品の振興にあたっては、県内外へ広く情報を発信し、販路拡大を図ることが重要であると考えている。</p> <p>本市としては、特産品ガイドブックの作成・配布や県外における物産観光展の開催などによる特産品のPRを行うとともに、地元の資源を活かした新商品の開発を図るため、県などと共同で「かごしまの新特産品コンクール」を開催するなどの取り組みを行っている。</p> <p>なお、19年度は、県などとともに「第24回伝統的工芸品月間国民会議全国大会」や「薩摩焼パリ伝統美展(仮称)」を開催し、本市の伝統的工芸品や特産品を国内外に情報発信してまいりたい。</p> <p>また吉田・郡山地域のニガウリ、松元地域のお茶、桜島地域の小みかん、喜入地域のオクラ・スイートコーンなど、市内各地域には優れた特産農産物等がある。これら特産農産物を多くの市民に紹介するため、「旬のキャンペーン」や「食の交流会」を実施したほか、物産展を通じて、県外へもPRを行っているところである。</p> <p>今後も地域性を大事にしながら、このような活動を通じて鹿児島市の特産農産物等をアピールしてまいりたい。</p> <p>-----</p> <p>※新市まちづくり計画 5産業活力都市／(3)地域産業／53ページ、(4)農林水産業／54ページ</p>	1

第11回（平成18年度第5回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1各地域に係る事項、2全市的な事項、3その他（質問、所感等を含む）
 検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、
 4市の所管に属さないもの、5その他

会議名	番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
吉田	1	狂犬病の予防接種受診率は全国で75%といわれている。鹿児島市の実態はどうなっているか。この病気は致死率100%であり、発生してからは遅いのもう一步踏み込んだ対策をしていただきたい。	2	健康福祉局	<p>鹿児島市内の犬の狂犬病予防注射の実施率は、平成16年度は約75%、平成17年度は約72%となっている。</p> <p>保健所では、犬の飼い主に対し、 ・定期予防注射（集合注射）実施の案内通知及び催告通知 ・啓発用リーフレットの配布 ・市民のひろば等の広報紙、ホームページを利用した周知、啓発 ・予防注射等未実施の飼い主判明時の直接指導 等を行い、狂犬病予防注射の実施を求めている。 また、集合注射会場を利用できない飼い主の方々に対しては、動物病院での狂犬病予防注射の実施の案内を行っている。</p> <p>なお、昨年11月の海外旅行者による狂犬病発生に際し、 ・市民のひろば等の広報紙 ・市ホームページ 等へ緊急情報を掲載するとともに、犬の登録や狂犬病予防注射の周知、啓発を行ったところである。</p> <p>登録や狂犬病予防注射の未実施については、飼い主への直接指導や周知、広報をさらに強化し、狂犬病予防注射等の実施率の向上に努めていく。</p>	1
吉田	2	学校給食費の未納対策として生活困窮者の減免措置などは講じているのか。なかには「納められるのに納めない人」もいるのではないか。未納防止対策として入学時に「学校給食をお願いします」というような承諾書をとるような方法は考えられないか。	2	教育委員会	<p>給食費の納入が滞っている家庭には、各学校において就学援助制度の案内を積極的に勧めている。また、給食費を納められるのに納めないと判断される保護者には、PTA総会や学級懇談会等で給食のねらいや仕組み、未納が与える影響等を説明するとともに、文書や電話、家庭訪問等で段階的に粘り強く督促を行っている。</p> <p>さらに、未納額が多い保護者には分納誓約書も提出してもらっている。入学に際しての承諾書については、その方法や内容等について今後研究してまいりたいと考えている。</p>	5

第11回（平成18年度第5回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1各地域に係る事項、2全市的な事項、3その他（質問、所感等を含む）
 検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、
 4市の所管に属さないもの、5その他

会議名	番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
吉田	3	町内会未加入者対策の一環としての情報提供には「個人情報保護法」などの制約があることは理解するが、「どこどこに誰々(氏のみ)さんが入居した」それだけでも法に抵触するのか。地域住民が組織をつくって防犯灯の管理や防災、防犯、ごみ処理などの活動を行いながら地域の連帯をはかっている。地域活動活性化のため、町内会加入の勧誘に使用しただけなのでご一考願いたい。	2	市民局	住民異動に関する情報管理については、法令等に基づき適正かつ厳格に行っており、情報を提供するのは難しいのでご理解いただきたい。	3
吉田	4	今年からごみの分別方法が変わり燃やせるごみが多くなった。将来にわたって資源問題にも関わってくると思う。出るごみを出さないようにすることが大事なことである。そのため、スーパーで買い物をするときは自前の袋を持参して出かけるなど、市民一体となった取り組みが必要ではないか。推進機構など結成して、広報を通じて意識の改革を図りながらごみの減量化を進めることはできないか。	2	環境局	平成19年4月に施行される容器包装リサイクル法改正により、容器包装廃棄物の排出抑制について明文化され、具体的な取組みも例示されています。さらに、容器包装廃棄物の排出抑制にあたっては、国、自治体、事業者、消費者が連携協力を図りながら取り組むことが求められている。 本市でも、スーパーがレジ袋の有料化を開始するなど、各事業者の自主的な取組みが既に始まっている。本市としても、レジ袋など容器包装廃棄物の削減に向けて、19年度からマイバッグ運動を展開するなど、事業者や消費者への広報啓発を通じて、ごみの減量化・資源化をさらに進めていきたいと考えている。	1
喜入	5	校区公民館を対象とした補助事業で、本年度で終了する「わがまち自慢づくり支援事業」について来年度以降も継続してほしい。	2	教育委員会	17・18年度に実施した「わがまち自慢づくり支援事業」では、各校区ごとにそれぞれの特色を生かした様々な取組が進められた。教育委員会では、この2年間の取組を通して各校区に根付きつつある「わがまち自慢」を確実に定着させるため、「わがまち自慢づくり推進事業」として来年度も継続してまいりたいと考えている。	1

第11回（平成18年度第5回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1各地域に係る事項、2全市的な事項、3その他（質問、所感等を含む）
 検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、
 4市の所管に属さないもの、5その他

会議名	番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
郡山	6	まとめの中に「公共施設の利活用」という項目があるが、既存の市の方針や基準で施設整備や利用基準が決められるが、それが本当に地域の実情やニーズにあったものなのか疑問を感じる面がある。そういった施設の利用や整備に関する地域住民ニーズというものをもっと汲み取って施策に活かしていくべきではないか。	2	企画部	各種公共施設については、各担当部局において、全市的な観点に加え、地域バランスにも意を用いる中で、設置目的や利用予測等も踏まえた設置を行っているが、今後、さらに厳しくなることが予測される地方財政や、少子高齢化の進展など社会経済情勢の変化等を踏まえ、行政内のさらなる横断的連携を図る中で、複合化や既存施設の有効活用などについても検討する必要があると考える。	5
				市民局	それぞれの地域に住む市民の方々から、市政に関するご意見やご提言をお聴きし、市政に反映させるため、「わたしの提言」や「市政モニター」、「市長とふれあいトーク」、「パブリックコメント手続」などを実施している。ぜひ、ご活用いただき、地域の実情を含め、ご意見などをお聞かせいただきたい。	1

平成19年度第1回地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
開催日時	平成19年4月12日(木) 13:30~16:00	平成19年4月12日(木) 9:30~12:00	平成19年4月13日(金) 13:30~15:50	平成19年4月13日(金) 13:30~15:50	平成19年4月11日(水) 13:30~15:20
開催場所	吉田福祉センター 2階会議室	桜島支所2階大会議室	マリンピア喜入八幡温泉保養館 第1会議室	松元支所3階大会議室	八重棚田館研修室
出席者数	委員15人	委員12人	委員13人	委員14人	委員15人
会議内容	1 開 会 2 議 題 (1) 平成18年度の開催経過 (2) 平成19年度の会議のスケジュール (3) 前回会議における意見等の検討状況 (4) 平成19年度予算(報告) (5) 新市まちづくり計画の進捗状況(報告) (6) 意見・提言等の協議 <各会議の協議テーマ>				
	ごみ対策、住環境の整備、 交通対策など	観光、農林水産業	自治組織と住民自立	安心健康都市 ～地域福祉、健康づくり、救急・医療など～	17・18年度末の意見集約の確認と19年度協議のポイントの確認など
	(7) その他 3 閉 会 (5支所共通)				
主な意見等 1	町内会未加入者対策の意見に対する回答として、「法令等に基づき適正かつ厳格に情報管理を行っており、個人情報提供はできない」とある。この意見は地域住民や町内会長が地域活性化のために転入者を勧誘しようとしてお願いしている。できないのであれば、どのような方法があるのかご教示を願いたい。	市営住宅の建設については、全市的なバランスもあるだろうが、桜島地域については、過疎対策がまちづくりを進める上での最重点課題であることを考慮して、重点的に市営住宅建設を進めてほしい。また、既存集落現況調査事業では、平成18年度に基本方針の作成を行ったとあるが、桜島地域はどのような方針なのか示してほしい。	浄化槽整備に事業について、50人槽以下を対象としている根拠と、本年度喜入地域への程度の設置を見込んでいるのか。また、今後も喜入地域においては、合併浄化槽で対応していくのか、下水道の整備をする計画はないのか。住宅団地等が合同で、120人槽程度の浄化槽を設置替えする場合、補助制度はないのか。	現在の松元地域に関わる予算規模は、旧松元町時代と比較すると縮小してきているのではないかと。甲突川源流域自然体験事業があるが、どのようなものか。	
2	狂犬病予防注射が、72%が実施ということは4匹に1匹は未実施ということである。予防注射等未実施の飼い主判明時の直接指導はどのような指導を行っているのか。また町時代は2回ぐらい脱漏対策があったが今はないので、1回は是非実施してもらいたい。	市営住宅は、年4回の募集を全市的に統一した制度で行っているとのことであるが、桜島は過疎地域であり、少しでも人口流出を食い止める努力をする必要がある。桜島地域の市営住宅については、随時募集など建設事務所で柔軟な対応ができないか検討してほしい。	グリーンツーリズム関係の会議で作成したパンフレットで、紹介された史跡付近に住む方々が、路上駐車や植木の乱獲で迷惑したとの事例が、上記会議でだされており、地域を紹介するパンフレット等の作成の際、地元の生活者が迷惑することがないように掲載するにあたっては、慎重に検討してほしい。	地域福祉館については、概ね1中学校区に1館という基本方針があると聞いている。旧5町域には住民自治組織がつくった集会施設があるが、地域福祉館とは機能や目的が異なっているので、集会施設があるという理由で地域福祉館の整備が遅れることのないようにしてほしい。	

平成19年度第1回地域まちづくり会議概要

区 分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
3	旧吉田町時代の三重岳遊歩道の階段が老朽化しているところは改修し、傾斜がきつところは「らせん」にするなど方法を考えていただきたい。	克灰袋配布事業では、現在、年2回ほど克灰袋が各家庭に配布されているが、本格的に灰が降れば、今の袋ではとても足りない。桜島地域についてはもっと容量の大きい袋が必要である。以前はドカ灰の時には、一輪車で直接持ち出していたので、そういう柔軟な対応も含めて検討をお願いしたい。また、克灰袋の置き場所の明示をお願いしたい。	喜入の森につわぶきなどの野草がとれる観光農園的な施設を整備できないか。	いろいろな施設ができて、自家用車を運転できない高齢者などは、公共交通手段がなければ施設を活用できない。コミュニティバスの運行については、18度中に利用実態調査を行い、その結果を踏まえた運行サービスの見直しを予定しているとあったが、具体的にはどのような見直しがなされたのか。	郡山中央地区土地区画整理事業の進捗率はどのくらいか示してほしい。
4	ごみ拾い活動をしたが、見えないところにごみが捨ててあり、川も汚れている状態である。そういうところのごみを撤去していただきたい。また粗大ごみの不法投棄があった場合、貼り紙をして一定期間置いて回収されている。捨てた人が取りにくくすることは考えられない。そこにごみがあることで次のごみ捨てを誘発するので、規則にとらわれず早めに撤去していただきたい。	湯之平展望所のリニューアルや足湯、観光案内所の計画について、設置場所などを含め概要を教えてください。この会議でも湯之平展望所については、高齢者が展望台に上がるのは大変であり、バリアフリー対策が必要であるとの意見が出されていたが、この点は計画に含まれているのか。また、足湯は規模の小さなものができると聞かすが、せっかく造るので、多くの観光客が利用できるような、立派なものを作ってほしい。設置場所についても、桜島と錦江湾の眺望も楽しめるような場所を選定してほしい。	喜入の森の利用促進のためにバス停を設けてほしい。	コミュニティバスの利用実態調査は、対象者を無作為に抽出して調査をしたと聞いている。バスを利用しない調査対象者も多かったと聞かすが、コミュニティバスの運行サービスの充実が地域住民の切実な声であるので、ぜひ利便性に十分配慮して見直しをしていただきたい。	中・高等学校の運動部活動への指導協力者派遣で、平成17年度と平成18年度は郡山中学校の女子バレーボールに指導協力者を派遣いただいた。平成19年度は指導協力者の派遣はないようだが、派遣希望がないからなのか判らないので示してほしい。
5	山間部の道路では、ごみが大量に捨ててあるところがある。ごみがあれば通りがかりでまたそこに捨てていく。一度撤去していただければ違ってくるのではないか。きれいなところには捨てにくいから、そういう心理を利用して対策をしていただければと思う。	現在、赤水漁港の整備が進められており、今後も引き続き整備されていくものと思うが、整備期間が長年にわたっており、その間、養殖業や漁協をめぐる情勢も変化してきていることから、今後の港の利用計画などを含めて漁協とも十分協議の上、整備を進めてほしい。	千貫平自然公園について、植物紹介の案内板の再設置と、自生している植物が減っているようなので、草刈り等の実施にあたっては、貴重な植物を守る上から適正な実施時期の検討をしてほしい。	健康づくりの担い手となる食生活改善推進員については、約1年間にわたり旧鹿兒島市の保健センターまで向いて養成講座を受けなければならないため、人数が減ってきている。合併前と同様に、松元地域でも養成講座を行ってほしい。	最終年度なので何とか形あるものにしていきたい。委員の使命及び責任上、最後の一番大事な時期であり、議論を深め、まちづくり会議の成果があがるようなものにしていかなければならない。

平成19年度第1回地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
6	<p>今はとにかく出るごみの量が多く、それを処理することに一生懸命になっているが、ごみを出さないように、リデュースを徹底していかなければならないと思う。行政も我々もごみを出さないということを徹底すべきである。</p>	<p>漁業信用基金協会への出資については、同協会の保証債務残高の比率が、同協会の規定の限度額の枠内で、保証能力に余裕があることから、出資は行わないということだが、西桜島漁協は、経済事業を営んでいることもあり、融資等の際にはどうしても漁業信用基金協会に頼らざるを得ない。鹿児島市に損失補償を頼んでも無理だと思うので、せめて漁業信用基金協会への出資金だけでも桜島町時代に毎年実施していたように行ってほしい。</p>	<p>住宅地周辺の傾斜地にある高齢者の所有する耕作が放棄されている農地は、住宅への被害も懸念されるが、所有者が高齢者であるため管理することは難しい状況にあると思うが、何か良い方法はないのか。</p>	<p>松元地域の老人クラブについては、今後も新たに結成される見込みがあるので、引き続き助成をお願いしたい。</p>	<p>我々委員の任期は平成19年度までとなっている中で、平成19年度は最後のまとめの一番重要な時期であると考えている。スケジュール案では、会議は10月までの4回となっており、残りはあと3回しか会議がないようだが、これで大丈夫か。地域によってはまだ課題等にはばらつきがあるが、状況によっては5回開くことも可能なのか。</p>
7	<p>川にごみを軽トラック1台ぐらい捨ててあって、県や警察に調査してもらったところ投棄者が判明した。行政も一緒になって捨て得を許さないよう地域のみんなで監視を徹底していきたい。</p>	<p>桜島の農業は、高齢化や担い手不足が進んでいる。増加する遊休地や空き家などを活用して、定年退職を迎える団塊世代を新規就農者に誘導することで、農業振興や過疎化対策につなげることができると思うのでそのような施策を展開してほしい。</p>	<p>地域住民から行政へ声を届ける場として、地域まちづくり会議は、良い組織であると思う。かごしままちづくり会議で話し合われる方針等も参考に今後については考えたい。</p>	<p>松元平野岡体育館の温泉施設利用者のマナーが最近悪くなってきているように感じるので、マナーの周知や指導をお願いしたい。</p>	<p>まとめに当たって時間的な制約がある中で、今までの議論を更に深めるために自主研究グループを設置し、お互い意見を出し合い、まちづくり会議を成果あるものに行きたい。</p>

平成19年度第1回地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
8	納税や健康づくりなどの啓発のための旗が効果的であるように、ごみ捨てを許さないという思想が大事である。だから私たちはごみを捨てるのをやめましょう、不法投棄はやめましょうと呼びかけていかなければならない。	桜島地域では、桜島赤水町の桜島ドライブイン付近、また、東桜島地域ではほとんどの地域がインターネットの高速回線が使えない状況である。我々のスタッフでも県外から桜島へ移住を希望する人が何人も現れているが、インターネットが使えないと活動しづらい。特に若者の移住に関しては、インターネット環境が重要なポイントであると思うので、ぜひインターネットの高速回線の早期整備をしてほしい。現在、国の補助金を活用して、自治体と通信会社が共同で取り組むことができるようなので、ぜひそのような形で取り組んでほしい。		高齢者福祉センター松元については、空調設備をはじめ、施設設備が老朽化しているのを改善していただきたい。	郡山地域に新しく住宅を建てられた方々が、まず一番心配するのは墓地である。永住を促進するためにも新たに共同墓地を作ることはできないか。
9	かねてからビニール袋を持ち歩いて、ごみがあると拾って持って帰る方がいる。その精神を自分たちも学ぶべきだと思う。	先日、合併後これまで70歳以上が無料であったマグマ温泉の入浴料を7月から一部有料化するとの新聞報道があったが、今回の有料化に至った経緯について教えてほしい。		休日当番医については、合併後、松元地域の医療機関が指定されることが少なくなったように感じる。松元地域の医療機関も指定されるように配慮をしていただきたい。	平成19年度の協議にあたって、平成17年度末、18年度末の意見集約を再確認し、今までの議論を総括して、現状と課題の分析や本年度の主要テーマ、協議すべきポイントなどの確認を行い、了承された。
10	吉田から吉野方面への買い物や病院通いの人が増えているが公共交通機関であるバスの便が少ない。吉野経由便を増設していただきたい。	会議で出された意見・提言等の中には施策に反映されたものもあり、この会議についても一定の成果があったと思う。平成19年度で委員の任期も終ることから、この会議も平成19年度で一応の区切りをつけ、その後は、何らかの形で地域の意見を市政に反映する仕組みや、東桜島地域と一体となった組織づくりが必要であると思う。		県議選挙のお知らせがきは、1枚に複数人（5人）分記載されているが、字が小さくて高齢者には見にくく、はさみで切るのも面倒である。合併前と同様、1人1枚とできないか。	この会議も設置から2年半を迎え、これまで多様な意見が出され、課題も明らかになってきている。会議自体については、合併協議において平成19年度中に組織のあり方を検討することとされている。5月に開催が予定されているかごしままちづくり会議において、今後のあり方について協議されるので、次回会議でその状況等をおつなぎする予定である。

平成19年度第1回地域まちづくり会議概要

区 分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
11	<p>新築住宅への合併処理浄化槽設置補助金が平成19年12月31日で廃止になるが、既存の単独浄化槽等を合処理浄化槽に設置変える場合への補助金も将来なくなるのではないかと危惧している。地域の住環境の保全のためにも、新築住宅への設置も含めて補助金制度は残していただきたい。</p>			<p>これまでの会議で、新市まちづくり計画の施策の体系に沿ったテーマを設定し協議を重ねてきたが、この新市まちづくり計画こそが将来の松元地域のまちづくりを進めていくうえでの具体的な方向性を示しているものであり、今後、きちんと施策に反映していくことが重要なことであると思う。合併協議において「19年度中に組織のあり方を検討する」となっており、また、われわれ委員の委嘱期間も19年度までとなっていることなどから、今年度中に会議の一定のとりまとめを行ってはどうか。</p>	
12	<p>市職員が通勤途中で道路の不具合などを発見した場合は、所管課と連携してすぐ対処できるような市役所組織内での機関を設置してほしい。</p>				
13	<p>吉田地域は始良インター、薩摩吉田インターがあって、南北に県道が一本通ってわかりやすいところではあるが、県道何号線という標識の下に遠慮がちに東佐多町とか本城町と標示してあるものの、よく見ないと分からない。できればこの県道沿いにずっと一貫した同じデザインの看板で、ここからは本城町、ここからは本名町といった統一した案内板があればと思う。</p>				

平成19年度第1回地域まちづくり会議概要

区 分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
14	交通対策として出来るだけバスを使うべきである。例えばバスを通してほしいという陳情に行くときも役所に行くときもできるだけバスを使う。そうすれば駐車場の問題も無くなる。バスは100円収益をあげるために経費が300円、400円かかる。日頃から公共交通機関を是非使っていきたい。				
15	これまでの会議において出された意見や提言の中から施策として取り入れられ実現できたものもあり、一定の成果があったと思う。現委員の任期満了となる平成19年度にこれまでの3年間の総括した取りまとめを行い、提言を行い区切りをつけたい。				